

シラバス

科目名	フリープロジェクトC I		担当者名	宮崎 誠二、日高 俊樹、嶋 愛萌、眞鍋 卓嗣、佐香 穰	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	学びの集大成、総合力、地域・社会貢献				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	主体性・協働力・発信力				
授業概要	企画内容、講師等、旬なプロジェクトを動かし取り組んでいく				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	プロローグ	19	プロジェクト 取り組み	
	2	プロジェクト 取り組み	20	プロジェクト 取り組み	
	3	プロジェクト 取り組み	21	プロジェクト 取り組み	
	4	プロジェクト 取り組み	22	プロジェクト 取り組み	
	5	プロジェクト 取り組み	23	プロジェクト 取り組み	
	6	プロジェクト 取り組み	24	プロジェクト 取り組み	
	7	プロジェクト 取り組み	25	プロジェクト 取り組み	
	8	プロジェクト 取り組み	26	プロジェクト 取り組み	
	9	プロジェクト 取り組み	27	プロジェクト 取り組み	
	10	プロジェクト 取り組み	28	プロジェクト 取り組み	
	11	プロジェクト 取り組み	29	プロジェクト 取り組み	
	12	プロジェクト 取り組み	30	プロジェクト 取り組み	
	13	プロジェクト 取り組み	31	プロジェクト 取り組み	
	14	プロジェクト 取り組み	32	プロジェクト 取り組み	
	15	プロジェクト 取り組み	33	プロジェクト 取り組み	
	16	プロジェクト 取り組み	34	プロジェクト 取り組み	
	17	プロジェクト 取り組み	35	プロジェクト 取り組み	
	18	プロジェクト 取り組み	36	プロジェクト 取り組み	
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	個々、グループ、適宜FB	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	眞鍋卓嗣 劇団俳優座文藝演出部所属、同付属演劇研究所講師。演出作品多数、日本演出者協会会員。日本劇団協議会常務理事。文学座演技研究所卒業。1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。スタジオえっせん代表。劇団猯猿 主催。TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム) ※他、外部特別講師				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	日高 俊樹、嶋 愛萌	
学 科	声優・演劇科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	演劇を通して表現力、想像力、集中力、コミュニケーション能力を身につける その演劇スキルを活かし、地域貢献に繋げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	相手を尊重しディスカッションしながら協調性を養い更に次の目標に向かうように導く 他者理解力、主体性・積極性を身に付けさせる				
授業概要	演劇ワークショップ、コミュニケーション能力のためのエクササイズ・インプロビゼーションを通して、人とのかかわる楽しさ、 難しさや喜びを理解させる				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介、授業内容説明	19	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(探求)	
	2	※基本ベース コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	20	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(探求)	
	3	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	21	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(探求)	
	4	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	22	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	5	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	23	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	6	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	24	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	7	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	25	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	8	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	26	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	9	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	27	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	10	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	28	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	11	コミュニケーションのエクササイズ、インプロビゼーション	29	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	12	演劇ワークショップでの自分のアプローチ方法を考える	30	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	13	演劇ワークショップでの自分のアプローチ方法を実践	31	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	14	演劇ワークショップに向けて企画していく	32	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	15	演劇ワークショップに向けて企画していく	33	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	16	演劇ワークショップに向けて企画していく	34	演劇のスキルを活かしてなにかができるか(地域公演・社会貢献に向けて)	
	17	ミニワークショップ	35	演劇のスキルを活かして地域公演・社会貢献	
18	まとめ	36	まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※授業のプロセスにおいて 出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップ行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	牛房 やよい	
学科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	自分の卒後ビジョンを作成し、基本的なビジネススキル(働くうえで必要な能力のこと)を身に付け、進級・卒業・就職という大きな流れを意識しそれぞれの夢をかなえる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年次における、カリキュラムの理解とともに、卒後ビジョンを作成し、それに必要な学びをテクノスの中で見つけ、実践していく。				
授業概要					
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期の講義内容に関して・ビジネスマナー②確認	
	2	自己紹介(聞き手はリアクションを取る練習)	20	企業・仕事求める人材像・力、インターンシップ再告知	
	3	ビジネス用メールルールとメルアド作成	21	志望動機の説明➡考え、文章化する	
	4	職業意識(働くことの意義・意味を考える。GD社会人と学生の違い)	22	発表の仕方レクチャー➡志望動機の発表	
	5	社会人として必要なコミュニケーションとは？	23	就活スケジュール復習➡説明会参加の練習(マナー、質問の仕方)	
	6	第一印象の大切さ、挨拶・マナー①(GDマナーとルールの違いの復習、SNSの注意)	24	挨拶・マナー③ メール・電話	
	7	業界研究①(国内外業界・業種)・インターン説明	25	面接指導・面接の流れ	
	8	業界研究②(職業・職種・組織)	26	身だしなみ確認・立ち居振る舞い	
	9	就活スケジュール説明・就活とは？・求人の種類・選考の種類	27	履歴書書き方説明➡書く組 / オンライン面接練習組	
	10	自己分析・自分の強みと弱みについて知る、学チカ考える、就活サイト登録・インターン予約	28	求人票の見方➡履歴書書く組 / オンライン面接練習組	
	11	会社訪問の方法 / 必要な資格や知識の確認と説明 / 作品集作成の準備(クリエイター系)	29	トークセッション(OBOGを招いて:就活生対象)	
	12	自己分析ワーク➡自己PR作成	30	ES説明、履歴書の提出書仕方 / 面接練習	
	13	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表①	31	GDの説明と練習	
	14	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表②	32	GDの練習	
	15	オンライン説明会・面接での注意	33	面接練習	
	16	業界志望動機作成方法の説明	34	面接練習	
	17	自己PR動画の撮影	35	確認テスト(履歴書)・まとめ1	
	18	前期 振り返りと後期の課題発見	36	履歴書の注意点・まとめ2	
成績割合	テスト		学習FB方法	"ワークシートを基にした面談 前期・後期 成績表の送付"	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	PC基礎		担当者名	千葉 輝子	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	Word・Power Point・Excelを実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:Word・PowerPointの基本操作及び効率の良い操作方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordで効率良くビジネス文書を作成できるようになるだけでなく、社会人として恥ずかしくないよう、ビジネス文書及びメールが作成できるようになるスキルを身に付ける PowerPointで効率の良いプレゼン資料を作成できるようになるだけでなく、最近よく見られるA4用紙一枚に企画書やチラシを作成するスキルも身に付ける Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	ビジネスメールのルール	
	2	ガイダンス	20	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)	
	3	ガイダンス	21	図形の挿入	
	4	科目ガイダンス	22	図形の挿入	
	5	文字入力の基本 1	23	画像の編集および表の挿入	
	6	文字入力の基本 2	24	Power PointでA4用紙1枚にチラシを作成	
	7	ビジネス文書のルール	25	小テスト(Power Point 総合課題)	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	10	表作成の基本	28	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	11	ビジネス文書課題(表のあるビジネス文書)	29	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	12	画像の挿入および加工	30	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	13	Word 総合問題 1	31	課題(ガントチャート)	
	14	Word 総合問題 2	32	後期期末試験(Excel課題)	
	15	Word 総合問題 3	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	Word 総合問題 4	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験(Word課題)	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説及び後期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	アフレコ実習 I		担当者名	川本 宗紀	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	声優になるための基礎となる、滑舌、演技、読解力、表現者としてセルフプロデュースが出来るよう基本的な事を教えていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	綺麗な滑舌及び、感情表現をしっかりと身につけ、羞恥心無く演じられるようにし、同時に簡単なPC操作、動画を制作出来るようにする。				
授業概要	滑舌、感情表現、読解力、PC操作、音声編集、動画編集の習得 基本となる外郎売・滑舌練習課題を与え、喋る基礎を固めたあと、感情をしっかりと出した演技が出来るようにしていく。 また、セルフプロデュースが出来るようPC操作及び簡単な音声・動画の編集を習得させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	外郎売及び滑舌練習	19	ラジオ収録	
	2	外郎売及び滑舌練習	20	ラジオ収録	
	3	外郎売及び滑舌練習	21	ラジオ収録	
	4	演技指導	22	音声編集	
	5	演技指導	23	音声編集	
	6	演技指導	24	音声編集	
	7	ドラマCD練習	25	動画作成の仕方	
	8	ドラマCD練習	26	動画作成の仕方	
	9	ドラマCD練習	27	素材の集め方と利用方法	
	10	ドラマCD練習	28	素材の集め方と利用方法	
	11	PC操作の指導	29	動画制作の基礎	
	12	ドラマCD収録	30	動画制作の基礎	
	13	編集ソフトの使用法	31	ラジオ動画制作開始	
	14	ドラマCD作成	32	ラジオ動画制作	
	15	ドラマCD作成	33	ラジオ動画制作	
	16	ドラマCD作成	34	ラジオ動画制作	
	17	動画制作ソフトのDLとインストール	35	ボイスサンプル作成方法	
	18	動画制作ソフトの使用法	36	ボイスサンプル作成方法	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。 その後、自身で制作した作品に声を入れたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画・ゲーム・ドラマCD・アニメーション・歌・MV等を合計で550本以上制作。				

シラバス

科目名	舞台実習 I		担当者名	日高 俊樹、嶋 愛萌、宮崎 誠二	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	演劇を通して表現力、想像力、集中力、コミュニケーション能力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	それぞれの個性をいかしつつ公演や作品を共に作り上げるという共通の目標のため相手を尊重しディスカッションしながら協調性を養い更に次の目標に向かうように導く				
授業概要	戯曲やシナリオをどのように読み解釈し役を作っていくかの指導、また舞台などで役を演じるための集中力や表現力、コミュニケーション能力のためのエクササイズや発想力やアドリブ能力を高めるインプロビゼーション、台本を使ったシーンのショーケースなどを行い人前に立ち演じる楽しさ、難しさや喜びを理解させる				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介、授業内容説明	19	前期公演合評	
	2	コミュニケーションのエクササイズ	20	後期公演作品選び、台本分析、読み合わせ	
	3	舞台の専門用語や古典や近現代、現代作品の紹介	21	後期公演作品選び、台本分析、読み合わせ	
	4	台本の読み方、解釈の仕方の指導	22	後期公演作品選び、台本分析、読み合わせ	
	5	表現力のエクササイズ	23	立ち稽古	
	6	インプロビゼーション、即興のエクササイズ	24	立ち稽古	
	7	自分の好きな作品、感動した作品、人に薦めたい作品(舞台、映画、本など)をスピーチする	25	立ち稽古	
	8	役作りをし作品のテーマや自分の役5Wとobjective	26	立ち稽古	
	9	サブテキストなどを明確にし台本を使い役を演じる	27	立ち稽古	
	10	公演のための本読み、読み合わせ、俳優付け帳、自分の役の履歴書の提出	28	立ち稽古	
	11	台本を持って立ち稽古	29	立ち稽古	
	12	台本を持って立ち稽古	30	立ち稽古	
	13	台詞を覚えて立ち稽古	31	立ち稽古	
	14	台詞を覚えて立ち稽古	32	立ち稽古	
	15	公演発表の稽古	33	通し稽古	
	16	台詞を覚えて立ち稽古	34	通し稽古	
	17	ゲネプロ(舞台稽古)	35	ゲネプロ(舞台稽古)	
	18	公演発表 まとめ	36	本番 まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップ行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ヴォーカルレッスン I		担当者名	熊坂 正実	
学科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	発声の基礎となる呼吸法をヴォーカル歌唱から会得し、発声に関わる咽喉・身体のマニピュレーションを理解した「PEを用いない発声法・歌唱法(舞台上での発声法・発語法)」を習得する。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	グループレッスンにより、歌唱に伴った呼吸法・発声法・発語法を習得する。 身体を使った発声で喉の持久力を鍛え、咽喉に負担が掛かりにくい発声法を修練する。 来年度からの個人レッスンへ向けて、個々の個性を活かす為の発声の基礎テクニックを修練する。				
授業概要	呼吸法(腹式呼吸)・発声法(ミックスボイス)・発語法(子音と母音の捌き)・音程発声法(音感)の修練と習得。 基礎的な楽曲の楽譜・伴奏音源を用い、楽譜の基礎知識と分析(アナリーゼ)・音源から表現情報を聴き取る力を養う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	個々の音楽経験・歌唱における発声法の知識・楽譜の理解力を調査し、発声に関する基礎理解と腹式呼吸の実践をする。	19	前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌唱。 発声法・呼吸法を用いた表現法の習練。	
	2	発声法・呼吸法の基礎鍛錬と、発語に於ける基礎知識の理解と実践。	20	前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌唱。 発声法・呼吸法を用いた表現法の習練。	
	3	発声法・呼吸法の基礎鍛錬と、発語に於ける基礎知識の理解と実践。	21	前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌唱。 発声法・呼吸法を用いた表現法の習練。	
	4	発声法・呼吸法の基礎鍛錬と、発語に於ける基礎知識の理解と実践。	22	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	5	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	23	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	6	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	24	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	7	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	25	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	8	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	26	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	9	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	27	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	10	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	28	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	11	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	29	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	12	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	30	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	13	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	31	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。	
	14	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。	32	後期試験(ソルフェージュ・課題曲)	
	15	前期試験(ソルフェージュ・課題曲)	33	後期試験の結果を踏まえた個人面談(基礎技術習練度の認識確認) 現時点での自らの発声(歌唱)に対する理解度の確認(長所・短所)	
	16	前期試験の結果を踏まえた個人面談(基礎技術習練度の認識確認)	34		
	17	夏季休暇中に課した課題の発表と評価	35		
18	前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌唱。発声法・呼吸法を用いた表現法の習練。	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>25% G<海外体感型学習>15%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所にてオペラ公演やミュージカル、ディナーショー、ジャズライブ等のステージに出演。東洋学園大学にて音楽学の講師を務める。ヴェント・ピアノヴォーカル教室主宰、ミューズ熊坂音楽スタジオ講師、ベルカント音楽院講師。				

シラバス

科目名	ダンスパフォーマンスⅠ		担当者名	小林 克則	
学科	声優・演劇		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	基礎となる身体の使い方を基にリズム感、音楽解釈、表現方法振付の覚え方などを学び形にします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ダンス作品の創作を通してプロとして現場に立つ心得を会得して卒業する事を目的とします。				
授業概要	ストレッチ、アイソレーション、バレエ基礎、ストリートダンス基礎、回転技の修練 それぞれの技術を音楽、リズムに乗せて表現する力を養う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介、授業内容の説明	19	間のシーン作成及び全体反復練習	
	2	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	20	間のシーン作成及び全体反復練習	
	3	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	21	間のシーン作成及び全体反復練習	
	4	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	22	間のシーン作成及び全体反復練習	
	5	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	23	間のシーン作成及び全体反復練習	
	6	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	24	間のシーン作成及び全体反復練習	
	7	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	25	間のシーン作成及び全体反復練習	
	8	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	26	間のシーン作成及び全体反復練習	
	9	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	27	間のシーン作成及び全体反復練習	
	10	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	28	間のシーン作成及び全体反復練習	
	11	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	29	間のシーン作成及び全体反復練習	
	12	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	30	間のシーン作成及び全体反復練習	
	13	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	31	衣装準備、通し稽古	
	14	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	32	衣装準備、通し稽古	
	15	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	33	衣装準備、通し稽古	
	16	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	34	衣装準備、通し稽古	
	17	前期ダンス発表リハーサル	35	ダンス発表 リハーサル	
18	前期ダンス発表	36	ダンス発表 本番・まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90～100点] A[80～89点] B[70～79点] C[60～69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	遠野 祥 日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	オーディション対策 I		担当者名	小林 大祐			
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習			
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間		
開講学年	1学年	必・選					
授業目的	劇団、プロダクション等の所属オーディションに際し、如何にして自己PRを行うか、また実技試験にて自己の能力を發揮出来るようになるか、稽古、勉強、研究を行う。 また、オーディションの勝率を上げる為の具体的かつ実践的な演技レッスンをを行う。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人で行う課題、相手役と掛け合いで行う演技課題を通じて、役者として必要な読解力、表現力を身につける。 また、点呼時に毎回1分間のスピーチを行い、自分の個性、オリジナリティ、人前で緊張せずに喋る事などを学んで行く。						
授業概要	自己PRの方法、役者&声優としての基礎トレーニング、発声、肉体訓練、緊張との付き合い方、表現力、観察力、集中力、読解力、魅力(自己哲学)などをまんべんなくレベルアップさせていく。 相手役との噛み合わせ方、ミーティングの方法についても学んでもらう。						
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	①自己PRの方法①	19	①台詞課題①			
	2	②自己PRの方法②	20	②台詞課題②			
	3	③発声、発音の見直し①	21	③台詞課題③			
	4	④発声、発音の見直し②	22	④台詞課題(掛け合い)①			
	5	⑤肉体トレーニング(基礎)	23	⑤台詞課題(掛け合い)②			
	6	⑥肉体トレーニング(基礎)	24	⑥台詞課題(掛け合い)③			
	7	⑦肉体トレーニング(応用)	25	⑦台詞課題(掛け合い)④			
	8	⑧肉体トレーニング(応用)	26	⑧台詞課題(掛け合い)⑤			
	9	⑨肉体トレーニング(応用)	27	⑨フレコの基礎知識①			
	10	⑩台詞課題①	28	⑩フレコの基礎知識②			
	11	⑪台詞課題②	29	⑪フレコの基礎知識③			
	12	⑫台詞課題③	30	⑫朗読課題①			
	13	⑬台詞課題④	31	⑬朗読課題②			
	14	⑭台詞課題⑤	32	⑭朗読課題③			
	15	⑮読解力講座	33	⑮田年年表(未来年表)の作成			
	16	⑯裏行力講座	34	⑯模擬オーディション①			
	17	⑰	35	⑰模擬オーディション②			
	18	半年間のまとめ(期末テスト)	36	⑱年間のまとめ 期末テスト			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付			
	学習態度・出席率	60%					
	レポート	10%	成績評価			出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%						
講師プロフィール	17歳からフィンランドに留学、欧式演劇プロデュースシステムを学ぶ。 帰国後は桐朋学園芸術学部にて演劇を専攻。卒業後、演劇制作体V-NETを設立。 現在は作家、劇作家、脚本家、演出家、音響監督、漫画原作者として活動。						

シラバス

科目名	音声表現		担当者名	宮崎 誠二		
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習		
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	座学により知識と、実技演習により技術を同時に修得していく。					
授業概要	シアターゲームや座学によって、知識と技術を同時に身に付け、修了制作を行えるようにする。					
授業 計画 表	授業内容			授業内容		
	1	発音・発声の基本	19	スポットアナウンス		
	2	正しい日本語とは	20	告知アナウンス		
	3	共鳴	21	トピックス		
	4	声の特色	22	ニュース		
	5	共通語	23	エッセイ		
	6	母音と子音	24	旅行記		
	7	拍の意識	25	小説(地の文)①		
	8	発音練習	26	小説(地の文)②		
	9	特殊拍	27	小説(会話文)①		
	10	拗音、撥音、促音、長音	28	小説(会話文)②		
	11	ガ行鼻音	29	歴史小説		
	12	母音の無声化	30	詩①		
	13	アクセント	31	詩②		
	14	品詞	32	エチュード		
	15	敬語	33	エチュード		
	16	難読漢字	34	おさらい・確認テスト		
	17	難読漢字	35	おさらい・確認テスト		
	18	前期まとめ	36	おさらい・確認テスト、まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	60%				
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点]		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	スタジオえっせんす代表。劇団猷猿 主催。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)					

シラバス

科目名	演技基礎		担当者名	大塚 規子	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・演技の基礎『正しい発声』『正しい口形』『滑舌』の修得 ・日本語について『鼻濁音』『母音の無声化』『アクセント』等の修得 ・表現の手法『プロミネンス(強調)』『ポーズ(間)』『音の使い方』の修得 ・コミュニケーション力『伝わる話し方』の修得 				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎訓練により現場での対応力をつけ、個性を大切にしながらコミュニケーション力を高め、マルチに活躍出来る役者を目指す。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・発声滑舌、音(声)の使い方、プロミネンス、ポーズ、ナレーション、朗読、パーソナリティー、ニュース原稿、台本(動きをつけるもの・声だけのもの)、即興などにより、表現力を養う。 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	初日オーディション、授業の流れの説明、集中力を養うゲーム	19	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	2	発声・滑舌・口形・音を楽しむ、セリフ(短い台本)	20	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	3	滑舌、音を楽しむ(毎週)、プロミネンス(ニュース原稿)、鼻濁音	21	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	4	ポーズ(一人セリフ)、母音の無声化	22	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	5	台本、二重母音	23	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	6	フリートーク(ラジオのパーソナリティー)	24	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	7	ナレーション(ストレートナレーションとキャラクターナレーション)	25	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	8	詩の朗読	26	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	9	オーディション練習、自己PRについて	27	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	10	セリフ(台本)	28	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	11	セリフ(台本)	29	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	12	セリフ(台本)	30	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	13	セリフ(台本)	31	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	14	セリフ(台本)	32	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	15	セリフ(台本)	33	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	16	セリフ(台本)	34	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	17	セリフ(台本)	35	前期終了時の状況(力量)により後期の内容を決める	
	18	セリフ(台本)	36	まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	『悪役商会』『石井光三オフィス』出身 舞台役者 声優養成所で22年間 演技指導講師をつとめ 若手声優を世に送り出してきました。				

シラバス

科目名	コミュニケーション演習 I		担当者名	牛房 やよい、佐香 穰	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	1単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	コミュニケーション能力の向上 自己プロデュース能力の習得 イベント等における司会進行、MCスキルの習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常生活、社会生活に必要なコミュニケーション能力の向上、 引いては業界に必要な自己プロデュース能力の習得をめざす				
授業概要	全体を通して会話を主体としたシアターゲーム(演劇の稽古などに用いられる簡単なレクリエーション、エクササイズ)を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、最終的にオーディションや就職活動を想定した自己プロデュースに結び付けます。 1年次を演習を通し基礎的なスキルを養い 2年次を基礎と並行した実践とし、学生自身が取り組んだオーディション等の振り返り、反省などを中心に進めていきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	他人に興味を持つ(他己紹介)	19	テーマトーク(1人)	
	2	他人に興味を持つ(ボードゲーム)	20	テーマトーク(1人)	
	3	他人に興味を持つ(他己紹介2)	21	テーマトーク(2人)	
	4	他人に興味を持つ(他己紹介3)	22	テーマトーク(2人)	
	5	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	23	テーマトーク(複数人)	
	6	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	24	テーマトーク(複数人)	
	7	会話の聴き方(うなずきと相槌)	25	プレゼンテーション	
	8	会話の聴き方(質問を返す)	26	プレゼンテーション	
	9	距離感(シアターゲーム)	27	プレゼンテーション	
	10	距離感(シアターゲーム)	28	模擬オーディション・振り返り	
	11	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	29	模擬オーディション・振り返り	
	12	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	30	模擬オーディション・振り返り	
	13	会話の連想(シアターゲーム)	31	模擬オーディション・振り返り	
	14	会話の連想(話題を広げる)	32	模擬オーディション・振り返り	
	15	場の空気を作る	33	模擬オーディション・振り返り	
	16	場の空気を作る	34	模擬オーディション・振り返り	
	17	言葉のニュアンス(復習)	35	模擬オーディション・振り返り	
	18	言葉のニュアンス(復習)	36	模擬オーディション・振り返り	
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	30%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	牛房:学科担任 佐香:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	演劇リテラシー I		担当者名	牛房 やよい	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"社会人に必要な一般常識やマナーを踏まえ、業界でのマナー、コミュニケーション力、メンタル力を強化する。進路に関わる知識・情報得る方法を学ぶ。ニュースや自治問題等にも関心を持ち積極的に考える事、自分の意見を持ち伝え又他者の意見を知り、人間力を伸ばしていく。"				
授業概要	声優・演劇科 ホームルーム ・挨拶・マナーの徹底(メイク・服装・言葉遣い等々) ・日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人ごとのサポート ・オーディション情報の伝達 ・進路相談 ・問題(テーマ)に関するディスカッション				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 学科オリエンテーション	19	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	2	面談 学科オリエンテーション	20	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	3	面談、課題発表	21	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	4	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	22	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	5	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	23	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	6	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	24	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	7	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	25	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	8	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	26	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	9	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	27	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	10	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	28	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	11	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	29	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	12	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	30	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	13	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	31	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	14	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	32	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	15	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	33	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	16	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	34	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	17	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	35	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	18	前期まとめと後期について	36	まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※学生個々にあわせて	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	フリープロジェクトC II		担当者名	日高 俊樹、宮崎 誠二、佐香 穰、嶋 愛萌、	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	学びの集大成、総合力、地域・社会貢献				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	主体性、協働力、発信力				
授業概要	企画内容、講師等、旬なプロジェクトを動かし取り組んでいく				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	プロローグ	19	プロジェクト 取り組み	
	2	プロジェクトミーティング	20	プロジェクト 取り組み	
	3	プロジェクトミーティング	21	プロジェクト 取り組み	
	4	プロジェクト 取り組み	22	プロジェクト 取り組み	
	5	プロジェクト 取り組み	23	プロジェクト 取り組み	
	6	プロジェクト 取り組み	24	プロジェクト 取り組み	
	7	プロジェクト 取り組み	25	プロジェクト 取り組み	
	8	プロジェクト 取り組み	26	プロジェクト 取り組み	
	9	プロジェクト 取り組み	27	プロジェクト 取り組み	
	10	プロジェクト 取り組み	28	プロジェクト 取り組み	
	11	プロジェクト 取り組み	29	プロジェクト 取り組み	
	12	プロジェクト 取り組み	30	プロジェクト 取り組み	
	13	プロジェクト 取り組み	31	プロジェクト 取り組み	
	14	プロジェクト 取り組み	32	プロジェクト 取り組み	
	15	プロジェクト 取り組み	33	プロジェクト 取り組み	
	16	プロジェクト 取り組み	34	プロジェクト 取り組み	
	17	プロジェクト 取り組み	35	プロジェクト 取り組み	
	18	プロジェクト 取り組み	36	エピローグ	
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	個々、グループ、適宜FB	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	真鍋卓嗣 劇団俳優座文藝演出部所属。同付属演劇研究所講師。演出作品多数、日本演出者協会会員。日本劇団協議会常務理事。文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダメイト」を主宰し、演劇ワークショップ行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。 スタジオえっせんす代表。劇団猷猷 主催。TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)※ 他、外部特別講師				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	牛房 やよい	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の卒後ビジョンを作成し、基本的なビジネススキル(働くうえで必要な能力のこと)を身につけ、進級・卒業・就職という大きな流れを意識しそれぞれの夢をかなえる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	2年次における、卒後ビジョンを作成し、それに必要な学びや社会人基礎力をテクノスや社会の中で見つけ、実践していく。				
授業概要					
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	面接についてのポイント(グループ・オンライン)	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒後ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒後ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒後ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト		学習FB方法	"ワークシートを基にした面談 前期・後期 成績表の送付"	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	アフレコ実習Ⅱ		担当者名	日高 俊樹、宮崎 誠二	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	144時間
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	座学により知識と、実技演習により技術を同時に修得。また、考えて演技することを実践。				
授業概要	エチュード、シアターゲーム、座学によって、基本を丁寧に復習し、 身に付け、高度な卒業公演を行えるようにする。 考える力を				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オーディオドラマ①	19	映像・アニメ台本の読み方①	
	2	オーディオドラマ②	20	映像・アニメ台本の読み方②	
	3	オーディオドラマ③	21	ショートアニメ①	
	4	オーディオドラマ④	22	ショートアニメ②	
	5	オーディオドラマ⑤	23	ショートアニメ③	
	6	戯曲読み①	24	ショートアニメ④	
	7	戯曲読み②	25	外画①	
	8	戯曲読み③	26	外画②	
	9	戯曲読み④	27	外画③	
	10	戯曲読み⑤	28	アニメ①	
	11	連続ラジオドラマ①	29	アニメ②	
	12	連続ラジオドラマ②	30	アニメ③	
	13	連続ラジオドラマ③	31	アニメ④	
	14	連続ラジオドラマ④	32	アフレコ作品読み合わせ	
	15	連続ラジオドラマ⑤	33	アフレコ作品読み合わせ	
	16	スタジオ機構、録音再生機材実習	34	アフレコ作品読み合わせ	
	17	スタジオ機構、録音再生機材実習	35	収録リハーサル	
18	スタジオ機構、録音再生機材実習	36	収録・まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんす代表。劇団猷申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	舞台実習Ⅱ		担当者名	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 144時間
授業目的	演劇を通して表現力、想像力、集中力、コミュニケーション能力を身につける			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	それぞれの個性をいかしつつ公演や作品を共に作り上げるという共通の目標のため相手を尊重しディスカッションしながら協調性を養い更に次の目標に向かうように導く			
授業概要	戯曲やシナリオをどのように読み解釈し役を作っていくかの指導、また舞台などで役を演じるための集中力や表現力、コミュニケーション能力のためのエクササイズや発想力やアドリブ能力を高めるインプロビゼーション、台本を使ったシーンのショーケースなどを行い人前に立ち演じる楽しさ、難しさや喜びを理解させる			
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容
	1	休み中の宿題発表(作品のスピーチ)	19	卒業公演、台本選び
	2	新入生歓迎公演の稽古	20	卒業公演、台本選び
	3	新入生歓迎公演の稽古	21	台本読み合わせ、台本分析
	4	新入生歓迎公演の稽古	22	台本読み合わせ、台本分析
	5	新入生歓迎公演の稽古	23	台本読み合わせ、台本分析
	6	新入生歓迎公演の稽古	24	台本読み合わせ、台本分析
	7	発表 まとめ	25	立ち稽古、通し稽古
	8	シェイクスピア作品探求	26	立ち稽古、通し稽古
	9	シェイクスピア作品探求	27	立ち稽古、通し稽古
	10	シェイクスピア作品の発表のための稽古	28	立ち稽古、通し稽古
	11	シェイクスピア作品の発表のための稽古	29	立ち稽古、通し稽古
	12	シェイクスピア作品の発表のための稽古	30	立ち稽古、通し稽古
	13	シェイクスピア作品の発表のための稽古	31	立ち稽古、通し稽古
	14	シェイクスピア作品の発表のための稽古	32	立ち稽古、通し稽古
	15	シェイクスピア作品の発表のための稽古	33	立ち稽古、通し稽古
	16	シェイクスピア作品の発表のための稽古	34	立ち稽古、通し稽古
	17	シェイクスピア作品の発表のゲネプロ	35	ゲネプロ(舞台稽古)
18	シェイクスピア作品の発表のための稽古	36	本番 まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	10%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%			
講師プロフィール	文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。			

シラバス

科目名	ヴォーカルレッスンⅡ		担当者名	熊坂 正実	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	発声の土台・基礎となる呼吸法を会得し、安定した発声と感情表現を音楽的見地からのアプローチで習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人の力量に合わせて個人レッスンを主体とし、一人一人が自信を持って歌える・マイクの前に立てる状態を最終目標とする。				
授業概要	呼吸法・発声・発語・音程発声の修練。 カラオケ等のデジタル及びアナログ音源にて、総合的な歌唱法・楽曲構築を指導。 楽譜・伴奏音源を用い、譜面からのアナリーゼと分析・音源から聴き取る力を養う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	春期休暇中に課した課題の発表(ソロ歌唱)と評価 グループレッスンから個人レッスンへの移行に関するの ガイダンス	19	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻 訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	2	1年次に習得した発声の基礎技術の復習(個々のレベ ルチェック)	20	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻 訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	3	現時点での自らの発声(歌唱)に対する理解確認(長 所・短所)	21	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻 訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	4	個人レッスン及び面談にて、個々の長所・短所の理解と 今後の方向性の提示	22	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻 訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	5	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	23	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	6	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	24	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	7	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	25	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	8	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	26	音響機器を用いてのマイク歌唱実習	
	9	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	27	音響機器を用いてのマイク歌唱実習	
	10	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	28	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	11	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	29	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	12	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	30	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	13	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	31	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声 及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	14	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ・発声及び発語表現)	32	後期試験(ソルフェージュ・自由曲)	
	15	前期試験(ソルフェージュ・自由曲)	33	後期試験の結果を踏まえた個人面談(個人目標の達成・未達成確 認) 現時点での自らの発声(歌唱)に対する理解確認(長所・短所)	
	16	前期試験の結果を踏まえた個人面談(個人目標の達 成・未達成の認識確認)	34		
	17	夏期休暇中に課した課題の発表(ソロ歌唱)と評価 自らの長所を活かす・短所を隠す選曲のポイントと、自 分の声に対する認識確認	35		
18	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現 と、日本語翻訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理 解	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60 ~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所にてオペラ公演や ミュージカル、ディナーショー、ジャズライブ等のステージに出演。東洋学園大学にて音楽学の講師を務める。ヴェント・ピ アノヴォーカル教室主宰、ミュージック熊坂音楽スタジオ講師、ベルカント音楽院講師。				

シラバス

科目名	ダンスパフォーマンスⅡ		担当者名	小林 克則	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	基礎となる身体の使い方を基にリズム感、音楽解釈、表現方法振付の覚え方などを学び形にします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ダンス作品の創作を通してプロとして現場に立つ心得を会得して卒業する事を目的とします。				
授業概要	ストレッチ、アイソレーション、バレエ基礎、ストリートダンス基礎、回転技の修練 それぞれの技術を音楽、リズムに乗せて表現する力を養う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介、授業内容の説明	19	間のシーン作成及び全体反復練習	
	2	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	20	間のシーン作成及び全体反復練習	
	3	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	21	間のシーン作成及び全体反復練習	
	4	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	22	間のシーン作成及び全体反復練習	
	5	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	23	間のシーン作成及び全体反復練習	
	6	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	24	間のシーン作成及び全体反復練習	
	7	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	25	間のシーン作成及び全体反復練習	
	8	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	26	間のシーン作成及び全体反復練習	
	9	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	27	間のシーン作成及び全体反復練習	
	10	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	28	間のシーン作成及び全体反復練習	
	11	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	29	間のシーン作成及び全体反復練習	
	12	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	30	間のシーン作成及び全体反復練習	
	13	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	31	衣装準備、通し稽古	
	14	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	32	衣装準備、通し稽古	
	15	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	33	衣装準備、通し稽古	
	16	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	34	衣装準備、通し稽古	
	17	前期ダンス発表リハーサル	35	ダンス発表 リハーサル	
18	前期ダンス発表	36	ダンス発表 本番・まとめ		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付 出席率:80% S[90～100点] A[80～89点] B[70～79点] C[60～69点] D[59点以下は不合格]	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%				
講師プロフィール	遠野 祥 日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	オーディション対策Ⅱ		担当者名	小林 大祐	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	劇団、プロダクション等の所属オーディションに際し、如何にして自己PRを行うか、また実技試験にて自己の能力を発揮出来るようになるか、稽古、勉強、研究を行う。 また、オーディションの勝率を上げる為の具体的かつ実践的な演技レッスンをを行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人で行う課題、相手役と掛け合いで行う演技課題を通じて、役者として必要な読解力、表現力を身につける。 また、点呼時に毎回1分間のスピーチを行い、自分の個性、オリジナリティ、人前で緊張せずに喋る事などを学んで行く。				
授業概要	自己PRの方法、役者&声優としての基礎トレーニング、発声、肉体訓練、緊張との付き合い方、表現力、観察力、集中力、読解力、魅力(自己哲学)などをまんべんなくレベルアップさせていく。 相手役との噛み合わせ方、ミーティングの方法についても学んでもらう。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	①自己PRの方法①	19	①台詞課題①	
	2	②自己PRの方法②	20	②台詞課題②	
	3	③発声、発音の見直し①	21	③台詞課題③	
	4	④発声、発音の見直し②	22	④台詞課題(掛け合い)①	
	5	⑤肉体トレーニング(基礎)	23	⑤台詞課題(掛け合い)②	
	6	⑥肉体トレーニング(基礎)	24	⑥台詞課題(掛け合い)③	
	7	⑦肉体トレーニング(応用)	25	⑦台詞課題(掛け合い)④	
	8	⑧肉体トレーニング(応用)	26	⑧台詞課題(掛け合い)⑤	
	9	⑨肉体トレーニング(応用)	27	⑨フレコの基礎知識①	
	10	⑩台詞課題①	28	⑩フレコの基礎知識②	
	11	⑪台詞課題②	29	⑪フレコの基礎知識③	
	12	⑫台詞課題③	30	⑫朗読課題①	
	13	⑬台詞課題④	31	⑬朗読課題②	
	14	⑭台詞課題⑤	32	⑭朗読課題③	
	15	⑮読解力講座	33	⑮田年年表(未来年表)の作成	
	16	⑯実行力講座	34	⑯模擬オーディション①	
	17	⑰	35	⑰模擬オーディション②	
18	半年間のまとめ(期末テスト)	36	⑱日年間のまとめ 期末テスト		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	17歳からフィンランドに留学、欧式演劇プロデュースシステムを学ぶ。 帰国後は桐朋学園芸術学部にて演劇を専攻。卒業後、演劇制作体V-NETを設立。 現在は作家、劇作家、脚本家、演出家、音響監督、漫画原作者として活動。				

シラバス

科目名	Cv収録・動画制作		担当者名	川本 宗紀	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	声優になるための基礎である、滑舌、演技、読解力の向上は引き続き行い、セルフプロデュースが出来るよう、PC操作及び音声や動画の編集技術を習得させ、自身の作品を動画として完成させる。 さらに仕事を頂くための愛想や礼儀を身に付けてもらい、コミュニケーション力の向上も狙う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	しっかりとした演技が出来るようにすると同時に、動画の編集技術を習得させる。				
授業概要	演技全般、編集技術、愛想、礼儀を習得、声優が携わるであろう他職業が行っている事を少しでも知ってもらう。 自身の作品のキャラクターを演じつつも、同期が作成する作品にも出演させ、色々な人間の求める演技が出来るようになる。 同時に、同期に求める演技を演者に分かりやすく礼儀を持って伝え、演じてもらう事を経験させる。 また、動画として作品を制作してもらい、自分がどのように演じているのかを第三者として見る事をさせ、演技力の向上を狙うと同時に、出演した嬉しさや楽しさを知ってもらう。 動画の作成が出来る事により、基本的なPC操作は獲得した事となる。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ボイスサンプル練習	19	卒展シナリオ作成	
	2	ボイスサンプル収録	20	卒展シナリオ作成	
	3	動画シナリオ作成	21	卒展シナリオ作成	
	4	動画オーディション用紙作成、オーディション	22	オーディション用紙作成	
	5	収録	23	オーディション	
	6	収録	24	収録	
	7	動画作成	25	収録	
	8	動画作成	26	収録	
	9	動画作成	27	収録	
	10	字祭テーマに沿ったシナリオ作成(テーマが決まっていなかった場合はDGS、グローバル、社会貢献、地域貢献ジャンルのシナリオ作成)	28	収録	
	11	オーディション用紙作成、オーディション	29	収録	
	12	オーディション用紙作成、オーディション	30	動画作成	
	13	収録	31	動画作成	
	14	収録	32	動画作成	
	15	動画作成	33	動画作成	
	16	動画作成	34	動画作成	
	17	動画作成	35	動画作成	
18	卒展テーマに沿ったシナリオ作成(決まっていない場合は学際の時同様のジャンルで作成)	36	動画作成		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。 その後、自身で制作した作品に声を入れたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画・ゲーム・ドラマCD・アニメーション・歌・MV等を合計で550本以上制作。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	佐香 穰	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	志望する養成所機関を決定し、入所を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	志望する養成所、劇団の特徴を理解し それに応じて自己プロデュースする。				
授業概要	各養成所新人開発担当者をお招きし、 前期に説明会、後期に学内オーディションを実施。 進路の決定とそれに向けた自己プロデュースを進める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	養成所説明会1	19	学内オーディション	
	2	養成所説明会2	20	学内オーディション	
	3	養成所説明会3	21	学内オーディション	
	4	養成所説明会4	22	学内オーディション	
	5	養成所説明会5	23	学内オーディション	
	6	養成所説明会6	24	学内オーディション	
	7	養成所説明会7	25	学内オーディション	
	8	養成所説明会8	26	学内オーディション	
	9	養成所説明会9	27	学内オーディション	
	10	養成所説明会10	28	学内オーディション	
	11	養成所説明会11	29	学内オーディション	
	12	養成所説明会12	30	学内オーディション	
	13	養成所説明会13	31	学内オーディション	
	14	養成所説明会14	32	学内オーディション	
	15	養成所説明会15	33	学内オーディション	
	16	養成所説明会16	34	学内オーディション	
	17	養成所説明会17	35	学内オーディション	
	18	養成所説明会18	36	学内オーディション	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	佐香 穰:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学校 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	コミュニケーション演習Ⅱ		担当者名	佐香 穰、牛房 やよい	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	コミュニケーション能力の向上 自己プロデュース能力の習得 イベント等における司会進行、MCスキルの習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常生活、社会生活に必要なコミュニケーション能力の向上、 引いては業界に必要な自己プロデュース能力の習得をめざす				
授業概要	全体を通して会話を主体としたシアターゲーム(演劇の稽古などに用いられる簡単なレクリエーション、エクササイズ)を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、最終的にオーディションや就職活動を想定した自己プロデュースに結び付けます。 1年次を演習を通し基礎的なスキルを養い 2年次を基礎と並行した実践とし、学生自身が取り組んだオーディション等の振り返り、反省などを中心に進めていきます。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	他人に興味を持つ(他己紹介)	19	テーマトーク(1人)	
	2	他人に興味を持つ(ボードゲーム)	20	テーマトーク(1人)	
	3	他人に興味を持つ(他己紹介2)	21	テーマトーク(2人)	
	4	他人に興味を持つ(他己紹介3)	22	テーマトーク(2人)	
	5	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	23	テーマトーク(複数人)	
	6	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	24	テーマトーク(複数人)	
	7	会話の聴き方(うなずきと相槌)	25	プレゼンテーション	
	8	会話の聴き方(質問を返す)	26	プレゼンテーション	
	9	距離感(シアターゲーム)	27	プレゼンテーション	
	10	距離感(シアターゲーム)	28	模擬オーディション	
	11	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	29	オーディション振り返り	
	12	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	30		
	13	会話の連想(シアターゲーム)	31	模擬オーディション	
	14	会話の連想(話題を広げる)	32	オーディション振り返り	
	15	場の空気を作る	33	模擬オーディション	
	16	場の空気を作る	34	オーディション振り返り	
	17	言葉のニュアンス(復習)	35	模擬オーディション	
18	言葉のニュアンス(復習)	36	オーディション振り返り		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	30%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	牛房:学科担任 佐香:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学校 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	Cv収録・動画制作		担当者名	川本 宗紀	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	声優になるための基礎である、滑舌、演技、読解力の向上は引き続き行い、セルフプロデュースが出来るよう、PC操作及び音声や動画の編集技術を習得させ、自身の作品を動画として完成させる。 さらに仕事を頂くための愛想や礼儀を身に付けてもらい、コミュニケーション力の向上も狙う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	しっかりとした演技が出来るようにすると同時に、動画の編集技術を習得させる。				
授業概要	演技全般、編集技術、愛想、礼儀を習得、声優が携わるであろう他職業が行っている事を少しでも知ってもらう。 自身の作品のキャラクターを演じつつも、同期が作成する作品にも出演させ、色々な人間の求める演技が出来るようになる。 同時に、同期に求める演技を演者に分かりやすく礼儀を持って伝え、演じてもらう事を経験させる。 また、動画として作品を制作してもらい、自分がどのように演じているのかを第三者として見る事をさせ、演技力の向上を狙うと同時に、出演した嬉しさや楽しさを知ってもらう。 動画の作成が出来る事により、基本的なPC操作は獲得した事となる。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ボイスサンプル練習	19	卒展シナリオ作成	
	2	ボイスサンプル収録	20	卒展シナリオ作成	
	3	動画シナリオ作成	21	卒展シナリオ作成	
	4	動画オーディション用紙作成、オーディション	22	オーディション用紙作成	
	5	収録	23	オーディション	
	6	収録	24	収録	
	7	動画作成	25	収録	
	8	動画作成	26	収録	
	9	動画作成	27	収録	
	10	字祭テーマに沿ったシナリオ作成(テーマが決まっていなかった場合はDGS、グローバル、社会貢献、地域貢献ジャンルのシナリオ作成)	28	収録	
	11	オーディション用紙作成、オーディション	29	収録	
	12	オーディション用紙作成、オーディション	30	動画作成	
	13	収録	31	動画作成	
	14	収録	32	動画作成	
	15	動画作成	33	動画作成	
	16	動画作成	34	動画作成	
	17	動画作成	35	動画作成	
18	卒展テーマに沿ったシナリオ作成(決まっていない場合は学際の時同様のジャンルで作成)	36	動画作成		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。 その後、自身で制作した作品に声を入れたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画・ゲーム・ドラマCD・アニメーション・歌・MV等を合計で550本以上制作。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	佐香 穰	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	志望する養成所機関を決定し、入所を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	志望する養成所、劇団の特徴を理解し それに応じて自己プロデュースする。				
授業概要	各養成所新人開発担当者をお招きし、 前期に説明会、後期に学内オーディションを実施。 進路の決定とそれに向けた自己プロデュースを進める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	養成所説明会1	19	学内オーディション	
	2	養成所説明会2	20	学内オーディション	
	3	養成所説明会3	21	学内オーディション	
	4	養成所説明会4	22	学内オーディション	
	5	養成所説明会5	23	学内オーディション	
	6	養成所説明会6	24	学内オーディション	
	7	養成所説明会7	25	学内オーディション	
	8	養成所説明会8	26	学内オーディション	
	9	養成所説明会9	27	学内オーディション	
	10	養成所説明会10	28	学内オーディション	
	11	養成所説明会11	29	学内オーディション	
	12	養成所説明会12	30	学内オーディション	
	13	養成所説明会13	31	学内オーディション	
	14	養成所説明会14	32	学内オーディション	
	15	養成所説明会15	33	学内オーディション	
	16	養成所説明会16	34	学内オーディション	
	17	養成所説明会17	35	学内オーディション	
	18	養成所説明会18	36	学内オーディション	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	佐香 穰:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学校 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	オーディション対策Ⅱ		担当者名	小林 大祐	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	劇団、プロダクション等の所属オーディションに際し、如何にして自己PRを行うか、また実技試験にて自己の能力を発揮出来るようになるか、稽古、勉強、研究を行う。 また、オーディションの勝率を上げる為の具体的かつ実践的な演技レッスンをを行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人で行う課題、相手役と掛け合いで行う演技課題を通じて、役者として必要な読解力、表現力を身につける。 また、点呼時に毎回1分間のスピーチを行い、自分の個性、オリジナリティ、人前で緊張せずに喋る事などを学んで行く。				
授業概要	自己PRの方法、役者&声優としての基礎トレーニング、発声、肉体訓練、緊張との付き合い方、表現力、観察力、集中力、読解力、魅力(自己哲学)などをまんべんなくレベルアップさせていく。 相手役との噛み合わせ方、ミーティングの方法についても学んでもらう。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	①自己PRの方法①	19	①台詞課題①	
	2	②自己PRの方法②	20	②台詞課題②	
	3	③発声、発音の見直し①	21	③台詞課題③	
	4	④発声、発音の見直し②	22	④台詞課題(掛け合い)①	
	5	⑤肉体トレーニング(基礎)	23	⑤台詞課題(掛け合い)②	
	6	⑥肉体トレーニング(基礎)	24	⑥台詞課題(掛け合い)③	
	7	⑦肉体トレーニング(応用)	25	⑦台詞課題(掛け合い)④	
	8	⑧肉体トレーニング(応用)	26	⑧台詞課題(掛け合い)⑤	
	9	⑨肉体トレーニング(応用)	27	⑨フレコの基礎知識①	
	10	⑩台詞課題①	28	⑩フレコの基礎知識②	
	11	⑪台詞課題②	29	⑪フレコの基礎知識③	
	12	⑫台詞課題③	30	⑫朗読課題①	
	13	⑬台詞課題④	31	⑬朗読課題②	
	14	⑭台詞課題⑤	32	⑭朗読課題③	
	15	⑮読解力講座	33	⑮田年年表(未来年表)の作成	
	16	⑯実行力講座	34	⑯模擬オーディション①	
	17	⑰	35	⑰模擬オーディション②	
18	半年間のまとめ(期末テスト)	36	⑱日年間のまとめ 期末テスト		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	17歳からフィンランドに留学、欧式演劇プロデュースシステムを学ぶ。 帰国後は桐朋学園芸術学部にて演劇を専攻。卒業後、演劇制作体V-NETを設立。 現在は作家、劇作家、脚本家、演出家、音響監督、漫画原作者として活動。				

シラバス

科目名	舞台実習Ⅱ		担当者名	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 144時間
授業目的	演劇を通して表現力、想像力、集中力、コミュニケーション能力を身につける			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	それぞれの個性をいかしつつ公演や作品を共に作り上げるという共通の目標のため相手を尊重しディスカッションしながら協調性を養い更に次の目標に向かうように導く			
授業概要	戯曲やシナリオをどのように読み解釈し役を作っていくかの指導、また舞台などで役を演じるための集中力や表現力、コミュニケーション能力のためのエクササイズや発想力やアドリブ能力を高めるインプロビゼーション、台本を使ったシーンのショーケースなどを行い人前に立ち演じる楽しさ、難しさや喜びを理解させる			
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容
	1	休み中の宿題発表(作品のスピーチ)	19	卒業公演、台本選び
	2	新入生歓迎公演の稽古	20	卒業公演、台本選び
	3	新入生歓迎公演の稽古	21	台本読み合わせ、台本分析
	4	新入生歓迎公演の稽古	22	台本読み合わせ、台本分析
	5	新入生歓迎公演の稽古	23	台本読み合わせ、台本分析
	6	新入生歓迎公演の稽古	24	台本読み合わせ、台本分析
	7	発表 まとめ	25	立ち稽古、通し稽古
	8	シェイクスピア作品探求	26	立ち稽古、通し稽古
	9	シェイクスピア作品探求	27	立ち稽古、通し稽古
	10	シェイクスピア作品の発表のための稽古	28	立ち稽古、通し稽古
	11	シェイクスピア作品の発表のための稽古	29	立ち稽古、通し稽古
	12	シェイクスピア作品の発表のための稽古	30	立ち稽古、通し稽古
	13	シェイクスピア作品の発表のための稽古	31	立ち稽古、通し稽古
	14	シェイクスピア作品の発表のための稽古	32	立ち稽古、通し稽古
	15	シェイクスピア作品の発表のための稽古	33	立ち稽古、通し稽古
	16	シェイクスピア作品の発表のための稽古	34	立ち稽古、通し稽古
	17	シェイクスピア作品の発表のゲネプロ	35	ゲネプロ(舞台稽古)
18	シェイクスピア作品の発表のための稽古	36	本番 まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	10%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%			
講師プロフィール	文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダimeイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。			

シラバス

科目名	ヴォーカルレッスンⅡ		担当者名	熊坂 正実	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	発声の土台・基礎となる呼吸法を会得し、安定した発声と感情表現を音楽的見地からのアプローチで習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人の力量に合わせて個人レッスンを主体とし、一人一人が自信を持って歌える・マイクの前に立てる状態を最終目標とする。				
授業概要	呼吸法・発声・発語・音程発声の修練。 カラオケ等のデジタル及びアナログ音源にて、総合的な歌唱法・楽曲構築を指導。 楽譜・伴奏音源を用い、譜面からのアナリーゼと分析・音源から聴き取る力を養う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	春期休暇中に課した課題の発表(ソロ歌唱)と評価 グループレッスンから個人レッスンへの移行に関する ガイダンス	19	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	2	1年次に習得した発声の基礎技術の復習(個々のレベル チェック)	20	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	3	現時点での自らの発声(歌唱)に対する理解確認(長 所・短所)	21	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現と、日本語翻訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	
	4	個人レッスン及び面談にて、個々の長所・短所の理解と 今後の方向性の提示	22	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	5	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	23	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	6	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	24	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	7	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	25	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け)	
	8	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	26	音響機器を用いてのマイク歌唱実習	
	9	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ含む)	27	音響機器を用いてのマイク歌唱実習	
	10	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	28	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	11	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	29	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	12	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	30	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	13	デュエット楽曲(日本語)を用いての発声表現・感情表現 と、それに応じたブレス変化・音色変化の習得	31	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)	
	14	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナ リーゼ・発声及び発語表現)	32	後期試験(ソルフェージュ・自由曲)	
	15	前期試験(ソルフェージュ・自由曲)	33	後期試験の結果を踏まえた個人面談(個人目標の達成・未達成確認) 現時点での自らの発声(歌唱)に対する理解確認(長所・短所)	
	16	前期試験の結果を踏まえた個人面談(個人目標の達成・未達成の認識確認)	34		
	17	夏期休暇中に課した課題の発表(ソロ歌唱)と評価 自らの長所を活かす・短所を隠す選曲のポイントと、自分の声に対する認識確認	35		
18	デュエット楽曲(英語)を用いての発声表現・感情表現 と、日本語翻訳歌詞での歌唱との決定的な相違点の理解	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所にてオペラ公演やミュージカル、ディナーショー、ジャズライブ等のステージに出演。東洋学園大学にて音楽学の講師を務める。ヴェント・ピアノヴォーカル教室主宰、ミュージック熊坂音楽スタジオ講師、ベルカント音楽院講師。				

シラバス

科目名	ダンスパフォーマンスⅡ		担当者名	小林 克則	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	基礎となる身体の使い方を基にリズム感、音楽解釈、表現方法振付の覚え方などを学び形にします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ダンス作品の創作を通してプロとして現場に立つ心得を会得して卒業する事を目的とします。				
授業概要	ストレッチ、アイソレーション、バレエ基礎、ストリートダンス基礎、回転技の修練 それぞれの技術を音楽、リズムに乗せて表現する力を養う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介、授業内容の説明	19	間のシーン作成及び全体反復練習	
	2	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	20	間のシーン作成及び全体反復練習	
	3	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	21	間のシーン作成及び全体反復練習	
	4	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	22	間のシーン作成及び全体反復練習	
	5	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	23	間のシーン作成及び全体反復練習	
	6	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	24	間のシーン作成及び全体反復練習	
	7	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	25	間のシーン作成及び全体反復練習	
	8	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	26	間のシーン作成及び全体反復練習	
	9	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	27	間のシーン作成及び全体反復練習	
	10	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	28	間のシーン作成及び全体反復練習	
	11	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	29	間のシーン作成及び全体反復練習	
	12	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	30	間のシーン作成及び全体反復練習	
	13	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	31	衣装準備、通し稽古	
	14	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	32	衣装準備、通し稽古	
	15	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	33	衣装準備、通し稽古	
	16	全4～5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。	34	衣装準備、通し稽古	
	17	前期ダンス発表リハーサル	35	ダンス発表 リハーサル	
	18	前期ダンス発表	36	ダンス発表 本番・まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90～100点] A[80～89点] B[70～79点] C[60～69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	遠野 祥 日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	オーディション対策Ⅱ		担当者名	小林 大祐	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	劇団、プロダクション等の所属オーディションに際し、如何にして自己PRを行うか、また実技試験にて自己の能力を発揮出来るようになるか、稽古、勉強、研究を行う。 また、オーディションの勝率を上げる為の具体的かつ実践的な演技レッスンをを行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	個人で行う課題、相手役と掛け合いで行う演技課題を通じて、役者として必要な読解力、表現力を身につける。 また、点呼時に毎回1分間のスピーチを行い、自分の個性、オリジナリティ、人前で緊張せずに喋る事などを学んで行く。				
授業概要	自己PRの方法、役者&声優としての基礎トレーニング、発声、肉体訓練、緊張との付き合い方、表現力、観察力、集中力、読解力、魅力(自己哲学)などをまんべんなくレベルアップさせていく。 相手役との噛み合わせ方、ミーティングの方法についても学んでもらう。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	①自己PRの方法①	19	①台詞課題①	
	2	②自己PRの方法②	20	②台詞課題②	
	3	③発声、発音の見直し①	21	③台詞課題③	
	4	④発声、発音の見直し②	22	④台詞課題(掛け合い)①	
	5	⑤肉体トレーニング(基礎)	23	⑤台詞課題(掛け合い)②	
	6	⑥肉体トレーニング(基礎)	24	⑥台詞課題(掛け合い)③	
	7	⑦肉体トレーニング(応用)	25	⑦台詞課題(掛け合い)④	
	8	⑧肉体トレーニング(応用)	26	⑧台詞課題(掛け合い)⑤	
	9	⑨肉体トレーニング(応用)	27	⑨フレコの基礎知識①	
	10	⑩台詞課題①	28	⑩フレコの基礎知識②	
	11	⑪台詞課題②	29	⑪フレコの基礎知識③	
	12	⑫台詞課題③	30	⑫朗読課題①	
	13	⑬台詞課題④	31	⑬朗読課題②	
	14	⑭台詞課題⑤	32	⑭朗読課題③	
	15	⑮読解力講座	33	⑮田年年表(未来年表)の作成	
	16	⑯実行力講座	34	⑯模擬オーディション①	
	17	⑰	35	⑰模擬オーディション②	
18	半年間のまとめ(期末テスト)	36	⑱日年間のまとめ 期末テスト		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	17歳からフィンランドに留学、欧式演劇プロデュースシステムを学ぶ。 帰国後は桐朋学園芸術学部にて演劇を専攻。卒業後、演劇制作体V-NETを設立。 現在は作家、劇作家、脚本家、演出家、音響監督、漫画原作者として活動。				

シラバス

科目名	Cv収録・動画制作		担当者名	川本 宗紀	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	声優になるための基礎である、滑舌、演技、読解力の向上は引き続き行い、セルフプロデュースが出来るよう、PC操作及び音声や動画の編集技術を習得させ、自身の作品を動画として完成させる。 さらに仕事を頂くための愛想や礼儀を身に付けてもらい、コミュニケーション力の向上も狙う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	しっかりとした演技が出来るようにすると同時に、動画の編集技術を習得させる。				
授業概要	演技全般、編集技術、愛想、礼儀を習得、声優が携わるであろう他職業が行っている事を少しでも知ってもらう。 自身の作品のキャラクターを演じつつも、同期が作成する作品にも出演させ、色々な人間の求める演技が出来るようになる。 同時に、同期に求める演技を演者に分かりやすく礼儀を持って伝え、演じてもらう事を経験させる。 また、動画として作品を制作してもらい、自分がどのように演じているのかを第三者として見る事をさせ、演技力の向上を狙うと同時に、出演した嬉しさや楽しさを知ってもらう。 動画の作成が出来る事により、基本的なPC操作は獲得した事となる。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ボイスサンプル練習	19	卒展シナリオ作成	
	2	ボイスサンプル収録	20	卒展シナリオ作成	
	3	動画シナリオ作成	21	卒展シナリオ作成	
	4	動画オーディション用紙作成、オーディション	22	オーディション用紙作成	
	5	収録	23	オーディション	
	6	収録	24	収録	
	7	動画作成	25	収録	
	8	動画作成	26	収録	
	9	動画作成	27	収録	
	10	字祭テーマに沿ったシナリオ作成(テーマが決まっていなかった場合はDGS、グローバル、社会貢献、地域貢献ジャンルのシナリオ作成)	28	収録	
	11	オーディション用紙作成、オーディション	29	収録	
	12	オーディション用紙作成、オーディション	30	動画作成	
	13	収録	31	動画作成	
	14	収録	32	動画作成	
	15	動画作成	33	動画作成	
	16	動画作成	34	動画作成	
	17	動画作成	35	動画作成	
18	卒展テーマに沿ったシナリオ作成(決まっていない場合は学際の時同様のジャンルで作成)	36	動画作成		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。 その後、自身で制作した作品に声を入れたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画・ゲーム・ドラマCD・アニメーション・歌・MV等を合計で550本以上制作。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	佐香 穰	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	志望する養成所機関を決定し、入所を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	志望する養成所、劇団の特徴を理解し それに応じて自己プロデュースする。				
授業概要	各養成所新人開発担当者をお招きし、 前期に説明会、後期に学内オーディションを実施。 進路の決定とそれに向けた自己プロデュースを進める。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	養成所説明会1	19	学内オーディション	
	2	養成所説明会2	20	学内オーディション	
	3	養成所説明会3	21	学内オーディション	
	4	養成所説明会4	22	学内オーディション	
	5	養成所説明会5	23	学内オーディション	
	6	養成所説明会6	24	学内オーディション	
	7	養成所説明会7	25	学内オーディション	
	8	養成所説明会8	26	学内オーディション	
	9	養成所説明会9	27	学内オーディション	
	10	養成所説明会10	28	学内オーディション	
	11	養成所説明会11	29	学内オーディション	
	12	養成所説明会12	30	学内オーディション	
	13	養成所説明会13	31	学内オーディション	
	14	養成所説明会14	32	学内オーディション	
	15	養成所説明会15	33	学内オーディション	
	16	養成所説明会16	34	学内オーディション	
	17	養成所説明会17	35	学内オーディション	
	18	養成所説明会18	36	学内オーディション	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	佐香 穰:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学校 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	コミュニケーション演習Ⅱ		担当者名	佐香 穰、牛房 やよい	
学 科	声優・演劇科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	コミュニケーション能力の向上 自己プロデュース能力の習得 イベント等における司会進行、MCスキルの習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常生活、社会生活に必要なコミュニケーション能力の向上、 引いては業界に必要な自己プロデュース能力の習得をめざす				
授業概要	全体を通して会話を主体としたシアターゲーム(演劇の稽古などに用いられる簡単なレクリエーション、エクササイズ)を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、最終的にオーディションや就職活動を想定した自己プロデュースに結び付けます。 1年次を演習を通し基礎的なスキルを養い 2年次を基礎と並行した実践とし、学生自身が取り組んだオーディション等の振り返り、反省などを中心に進めていきます				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	他人に興味を持つ(他己紹介)	19	テーマトーク(1人)	
	2	他人に興味を持つ(ボードゲーム)	20	テーマトーク(1人)	
	3	他人に興味を持つ(他己紹介2)	21	テーマトーク(2人)	
	4	他人に興味を持つ(他己紹介3)	22	テーマトーク(2人)	
	5	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	23	テーマトーク(複数人)	
	6	言葉のニュアンス(シアターゲーム)	24	テーマトーク(複数人)	
	7	会話の聴き方(うなずきと相槌)	25	プレゼンテーション	
	8	会話の聴き方(質問を返す)	26	プレゼンテーション	
	9	距離感(シアターゲーム)	27	プレゼンテーション	
	10	距離感(シアターゲーム)	28	模擬オーディション	
	11	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	29	オーディション振り返り	
	12	会話の瞬発力と仕切り(大喜利)	30		
	13	会話の連想(シアターゲーム)	31	模擬オーディション	
	14	会話の連想(話題を広げる)	32	オーディション振り返り	
	15	場の空気を作る	33	模擬オーディション	
	16	場の空気を作る	34	オーディション振り返り	
	17	言葉のニュアンス(復習)	35	模擬オーディション	
	18	言葉のニュアンス(復習)	36	オーディション振り返り	
成 績 割 合	テスト	10%	学 習 FB 方 法	都度、個人に合わせて行う	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	30%	成 績 評 価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	牛房:学科担任 佐香:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学校 声優・演劇科 平成28年度卒業生 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身の上話」に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 準所属				

シラバス

科目名	演劇リテラシーⅡ		担当者名	牛房 やよい	
学 科	声優・演劇科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"社会人に必要な一般常識やマナーを踏まえ、業界でのマナー、コミュニケーション力、メンタル力を強化する。進路に関わる知識・情報得る方法を学ぶ。 ニュースや自治問題等にも関心を持ち積極的に考える事、自分の意見を持ち伝え又他者の意見を知り、人間力を伸ばしていく。"				
授業概要	声優・演劇科 ホームルーム ・挨拶・マナーの徹底(メイク・服装・言葉遣い等々) ・日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人でのサポート ・オーディション情報の伝達 ・進路相談 ・問題(テーマ)に関してのディスカッション				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	自己紹介 学科オリエンテーション	19	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	2	面談 学科オリエンテーション	20	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	3	面談、課題発表	21	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	4	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	22	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	5	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	23	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	6	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	24	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	7	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	25	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	8	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	26	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	9	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	27	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	10	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	28	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	11	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	29	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	12	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	30	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	13	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	31	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	14	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	32	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	15	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	33	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	16	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	34	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	17	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	35	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題	
	18	前期まとめと後期について	36	まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	※前後期 成績表送付 出席率:80% S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				